



# 三木町

No.142

2013.January

# 議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



## 春頌

議 員 白 井 正 治	議 員 西 丸 一 明	議 員 糸 井 明 人	議 員 原 田 照 治	議 員 筒 井 米 市	議 員 石 井 定 夫	議 員 香 西 茂 知	副 議 長 古 市 弘	議 員 香 西 義 典
議 員 高 藤 周 介	議 員 十 川 治 郎	議 員 藤 井 匠	議 員 村 松 修	議 員 富 田 修 司	議 員 渡 辺 達 実	議 員 三 木 和 則	議 員 香 西 義 典	

明けまして  
おめでとーございます

もちつきペタン  
(平井保育園)

### 12月定例議会

- 一般質問 ..... 5~11  
7人が一般質問に立つ
- 来年度予算に活かせ ..... 12~13  
決算委員会から7つの指摘
- 元気なグループ紹介 ..... 16  
香川医療生協田中支部

# 輝かしい新春を迎えて



議長 古市 弘



副議長 香西 茂知

新年、明けましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたりまして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

今年はい年であり、已は新たに出発する、奮起するという意味があります。皆様方が昨年までに準備し蓄えた力を発揮し、輝かしく飛躍する一年

になることをご期待いたします。

また、再生の象徴といわれますへびにあやかっつて、今年はこのからの時代にあるべき国の姿、社会のあり方を踏まえ、大きな一歩を踏み出したいものです。

昨年末にあわただしく実施された衆議院議員総選挙におきまして、我が国の政界地図は大きく塗り変えられました。一昨年3月に発生いたしました世界最大級の東日本大震災の復旧・復興、竹島や尖閣諸島などの領土問題、長引く経済不況など我が国の抱える懸案は数多くあります。いづれにいたしまして、現実を見据えた

地に足の着いた国政を期待するものです。

そして、今年こそは、このような課題や試験を克服し、我が国が、生き生きと大きく再生の一步を踏み出せる一年であつてほしいと願つてやみません。

本町では、積年の課題であります下水道事業の実現をはじめ、少子高齢化対策や福祉・教育の拡充など、任んで本町に合ったと実感できる町づくりに向けて、旧年にも増して果敢に挑戦して行かねばなりません。

本町議会といたしまして、住民皆様方のご意見を町政に的確に反映するよう、なお一層の努力を傾注してまいりたいと

存じますので、ご協力とご支援をお願い申し上げます。

最後に、2013年

が皆様方にとりまして、幸せ多き最良の年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



## 議 会 動 誌

10月	12	議会広報編集委員会
16	18	決算特別委員会 全員協議会
29	31	議会広報編集委員会視察研修 (北海道 当別町・七飯町)
11月	1	決算特別委員会(現地調査)
5	5	決算特別委員会(総括)
6	6	第53回四国地区町村議会議長会研修会 全員協議会
7	7	総務建設常任委員会
19	19	教育民生常任委員会
20	20	行財政改革推進特別委員会
27	27	下水道推進特別委員会
28	28	議会運営委員会
12月	5	第4回定例議会開会 議案の上程、質疑) 全員協議会
6	6	議会広報編集委員会
11	11	教育民生常任委員会
13	13	本会議(一般質問) 本会議(議案の質疑、討論、採決 追加議案の上程、採決)閉会 全員協議会
25年1月	19	議会広報編集委員会
8	8	議会広報編集委員会
10	10	議会広報編集委員会 全員協議会



▲本会議採決の様様

# 12月 定例議会

## 旧田中幼稚園天枝分園まんでがんふれあいホームとして再利用

平成24年第4回定例議会は、12月5日から13日までの9日間で開催された。

初日には、まんでがんふれあいホーム設置及び管理に関する条例の制定や、サンサン館みきの指定管理者選定など8議案が上程され、最終日には議員発議による三木町議会政務活動費の交付に関する条例の制定など、3議案が追加上程された。

一般質問では、7人が質問に立ち、「三木まんで願。」の評価、池戸公民館の活用、教育行政、福祉施策、町長の政治姿勢などについて町長の見解を求めた。

今期定例会に提案された11議案のうち10議案について可決、三木町議会政務活動費の交付に関する条例の制定については否決した。決算特別委員会に付託されていた平成23年度の各会計9件についても本会議にて、全議案を認定した。

### 議会「政務活動費」条例化で 討論 否決される

(賛成7・反対8)

#### 提案理由

地方自治法の改正により、現在の「政務調査費」の名称を「政務活動費」に変更し、交付の目的を「議会議員の調査研究その他の活動に資するため」に改め、政務活動費を充てることのできる経費の範囲について、条例で定めなければならないこととされた。

このことから、新たに政務活動費交付条例を制定するものである。

#### 反対討論

石井定夫議員

議会改革が言われている中、議会としても身を切る改革が必要であると考えるので、反対する。

#### 賛成討論

十川治郎議員

自分の不得意分野の克服のため、研修参加など、有効に使用している。今後も自己研さんのために使いたいため、賛成である。

#### ■各会計予算を補正

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計(第4号)	2,011万1千円追加	89億4,616万4千円
一般会計(第5号)	1億5,006万6千円追加	90億9,623万円
国民健康保険事業特別会計(第1号)	2,531万6千円追加	31億5,431万6千円
介護予防サービス事業特別会計(第1号)	291万4千円追加	2,861万4千円
水道事業会計(第1号) (収益的支出)	585万6千円追加	4億8,548万3千円

# 議案を 審議

# まんでがんふれあいホーム

高齢者・障がい者・子どもの  
世代間交流の場に



▲ふれあいホームとなる旧田中幼稚園天枝分園

**子ども預かり事業を  
実施**

**問** 対象年齢と、定員は。

**答** 住民生活課長

高齢者が要介護とならないための交流の場でもあるが、一時預かりの対象年齢は、ゼロ歳児から就学前で、定員は9名までとし、保育士は3名である。

**一般廃棄物処理施設  
に置く技術管理者**

**問** 職員で資格を持った者は。

**答** 環境保全課長

資格修得者はいないため、資格を持った業者に委託をする。

**サンサン館みきの  
管理運営**

**問** 選考の取り組み方は。

**答** 生涯学習課長

指定管理者選考委員会をもって選考する。

**委員会に関する  
規定の簡素化**

自治法の改正により、委員会については、委員の選任等は条例で定めることが規定されたことから、本町議会委員会条例を改正する。

**公聴会・参考人  
制度の導入**

自治法の改正により、本会議における公聴会の開催、参考人の招致をすることが規定されたことから、本町議会会議規則を改正する。

**補正予算質疑**

**一般会計**

**問** 職員人件費の中で、時間外勤務手当の内容を問う。

**答** 参事

656万円の補正を行った。内容は「三木まんで願。」関連が390万円。その他財務システム変更にか

かる事業等で266万円である。

**国民健康保険特別会計**

**問** 国民健康保険税が高くなりすぎていて、払いたくても払えない世帯がある。繰越金を活用し、保険税の引下げを検討したのか。

**答** 健康福祉課長

国民健康保険加入者は6941名(10月末現在)である。感染症等に対応していくために、財政調整基金として確保している。現在、基金は1億7千万円である。繰越金を活用して保険税を引き下げしていくことは難しい。



▲サンサン館みき



▲盛況だった「三木まんで願。」

# 一般質問

ここが聞きたい!

## 町政を問う

7人が質問

町内全域の町民を対象に実施された「町長との行政懇談会」の状況と対応は。

### 行政懇談会

町長 当日、天候にも恵まれ、予測を超える約2万人の来場者で賑わい、盛況のうちに終えることができた。新たな祭りのスタートとしては、大きな一歩を踏み出すことができた。

町長に就任以来、初めて開催された「獅子たちの里 三木まんでき願。」の評価は。

**問** 「獅子たちの里 三木まんでき願。」の評価は

**答** 大きな一歩を踏み出すことができた

政策情報課長 施設の維持継続を条件に、平成23年度

「トレストア白山」の施設に関する協定を締結しているが、協定等に伴う有効期間と延長は。

### トレストア白山

町長 参加者から、防災対策や道路整備、交通安全、下水道事業の供用に関する事など、さまざまな意見があつた。予算が伴うものは、議会の意見を聞きながら、対応していきたい。

土木建設課長 ウォーキングセンター付近の地権者との協議が整い、測量設計委託業務の発注手続きを進めており、道

路改良を。

### 道路網対策

町道原北塚脇線の道路幅員5メートルに改良予定である。



▲ウォーキングセンター前の道路



## 一般質問

白井 正治 議員

町道鳥打西線の道路改築工事に関する今後の対応策は。

土木建設課長 町道正一駒足線の用地交渉が難航していることから、現在も、道路改築工事を中止している方針に変わりない。

## 問 福祉の充実による 安心・安全な町づくりを

**答** 来年度中に認知症対応型  
グループホームの開設を予定



一般質問  
村松 修議員

県下のほとんどの市町では教育長のもと指導主事が置かれていることだが、本町では今日まで置かれていない指導主事を置く必要はないと考えているのか、今後の体制も併せて伺う。

不登校の子どもたちへの対策は

分に検討してもらうこととする。

認知症高齢者数も

2025年には320万人になると推計されている。このような状況の中で三木町第5期福祉計画が策定されたが、計画に沿った施設建設の進捗状況はどうなっているのか。

また、町独自の福祉施設の支援とサービス事

業の町外委託費の総額と、今後の方針を伺う。

### 健康福祉課長

第5期高齢者保健福祉計画において、認知症高齢者グループホーム18床を来年度中の開設を予定している。町独自の支援は他の市町の状態も参考

にし、研究していく。

障害者相談支援事業費は684万円である。今後も、利用者の立場に立って安心して自立した生活が送れるよう支援していきたい。

### 夜の役場開設は

週1回でも少し時間延長すれば、各種の申請や手続きがしやすいといった声をよく耳にする。考えを伺う。

### 町長

住民サービスを第一に考えることは重要であるが、平時の窓口業務時間延長については、各種システムの

運転経費や職員の勤務時間等を勘案すると費用対効果の問題も考えられ、現時点では難しい。

### 教育委員会指導主事の配置と今後の体制は

町長 指導主事については、他の市町でも置かれていることが多いようであり、このような状況を踏まえて、25年度から必要な予算措置等を講じる。

また、体制については、必要があれば教育委員会において十

不登校の子どもは、神奈川県が不登校数全国第1位で、香川県は15位と発表されている。本町には不登校の子どもたちは何人位いるのか。その対策は考えているのか伺う。

### 教育長

町内4小学校・1中学校2423人中18人である。

対応については、要因が複雑に考えられるところであり、スクールカウンセラー、指導員、専門教員、担任教員が家庭訪問をし、保護者との関係を密にし、不登校児童・生徒が出ないよう頑張っている。



▲グループホーム建設予定地(池戸・高尾)



▲時間外窓口サービスコーナー

## 問 町長選挙の

# マニフェスト達成状況は

**答** 一部を除きほぼ約束は果たせた



一般質問  
原田 照治 議員

町長は先般10月でまる2年、今任期の半分が終わったが、町長選挙の折りに掲げた6項目のマニフェストの達成状況について、中間報告を求めらる。

第5次三木町振興計画実施計画は

振興計画実施計画作成に当たって、特に留意した点と計画作成の指針について問う。

## 町長

町長選挙のマニフェストの6項目14課題については、13課題が進行中のものを含めてすでに約束を果たせたと思う。

残された最大の課題は、下水道整備である。

「まちづくりは人づくり」の標榜をもって課題に取り組んでいる。

にも分かりやすい形で表すことに心がけた。

第5次振興計画は、6項目から構成されている。この6項目をバランスよく推進することがわ

が町の目指すべき姿を実現することだと思ふ。

平成24年度予算における6分野ごとの予算構成比はどうなっているのか問う。

が参加するまちづくり」が約22パーセントである。

一方、農業・林業・商工業分野の「活力にあふれ産業が躍動するまちづくり」は、約7パーセントとなっている。

山南地区における地域活性化は

山南地区は、利便性の問題から年々過疎化が進み、限界集落が目立つようになってきている。

今後、山南地区の過疎化をくい止め、活性化を図る手段・妙案があれば示してほしい。

## 産業振興課長

山南地区においては、人口減少、高齢化が進み農業を中心とした産業の停滞の中で、活性化が強く求められている。

このため、県や関係団体などと連携し、共同活動をさらに促進するとともに、農業生産活動や交流活動などを支援することにより、山南地区の活性化に努める。

平成18年3月に山南の2幼小中学校が廃校になったが、旧神山幼小中学校の活用に向けての進行状況を問う。

## 町長

旧神山幼小中学校の活用については、閉校時に地元との約束事があるが、進んでいない。

子どもの福祉関係で1業者からの提案があり、交渉中である。

## 町長

早急な利益・見返りを求めるのは、本来難しい施設である。

施設ができたことによつて、その製造過程が実用化に向けて大きく花開いたという意味での存在感はある。

旧小蓑幼小中学校校舎を8千万円余の町費を投入して改修し、希少糖研究研修センターを誘致した。

その後、わが町にもたらした効果と成果について問う。



▲山南(奥山地区)

# 問 伊方原子力発電所の再稼働に反対を

## 答 国の政策動向を注視していく



一般質問  
渡辺 達実 議員

町民の命とくらしを守る立場として、危険な原子力発電所の再稼働に反対すべきではないか。

### 参事

福島県で起きた事故を二度と起こさないために、安全対策に万全を期すことが、次世代に残していく責



▲さよなら原発1000万人アクション (HPから)

## 再稼働に反対を

務と考えている。再稼働を含め、国がどのような政策を選択するか動向を注視していく。

### 消費税の増税反対

消費税の増税は町民を苦しめ、景気を停滞させ、町の活性化を奪う可能性がある。どのような対応が考えられるのか。

### 参事

地域経済にどのような影響を及ぼすのか現段階では見極めるのは難しい。国民的な議論によって検討されるべきで、国の動向を注視していく。

### 新年度予算編成の基本方針を問う

町民は、くらしの困難さをはじめ、さまざまな問題を抱え、現状を少しでも改善してほしいと願っている。

町民の福祉を向上させることが基本と考えるが、予算編成の基本方針、重点事業について問う。

### 町長

直面する諸課題に的確に対処するとともに、将来に備え取り組みを進め、事業の必要性と有効性を検証していく。そして、これまで以上に創意工夫を凝らしていく。

### 「三木まんて願」の成果と課題を問う

まつりは町民の関心の高さを示し、たくさんの人出で成功裏に終わったが、予算執行は妥当だったのか。来年度の実施に当たっては経費の見直しを図れ。

### 町長

住民が企画段階から参画して楽しむという形が実現できた。新しいまちづくりに向けて貴重な経験となった。

経費の面では事業費が増加したこと、会場移転に伴う想定外の経費がかさみ増額になった。

来年の開催に向けて十分に検証し改善していく。

### 今後の教育行政を問う

多様な教育への期待にどう応えていくのか。

老朽化した教育施設の改善を図れ。

### 教育長

学校・家庭・地域との連携を一層深めながら、社会全体で未来を担う子どもたちのために何ができるのか、何をすべきなのかについて、じっくり考え取り組んでいきたい。

遊具等の整備が必要、調査等を行ない改善すべきではないか。

### 教育長

遊具については、老朽化が進んでおり、安全点検を実施した。修繕が不可能なものについては、今年度中に撤去していく。遊具の新設は、次年度から年次計画をたて、順次設置していく。

# 問

文化交流プラザ・池戸公民館・サンサン館みきを連動させた三木町の文化発信力を

# 答

経費削減に努めつつ強力な情報発信をする



## 一般質問

十川 治郎 議員

口の増加、町の活性化を図りたい。

文化交流プラザ・池戸公民館・サンサン館の設備、スタッフのがんばりにより、三木町には高い文化エリアが形成されつつある。反面、運営維持のため、町から文化交流プラザ・サンサン館に、合計1億3500万円もの町費の注入を余儀なくされている。委託金の削減に留意しつつ、三大施設を連動させた三木町の高い文化発信力を作る考えは。

### 町長

今後とも、経費削減に努めるとともに、これら三木町の三大文化施設の良さを引き出すように工夫しながら情報発信を行い、交流人



▲サンサン館みき



▲池戸公民館



▲文化交流プラザ

「池戸公民館郷土資料コーナーの活用」

改修された池戸公民館(旧木田郡役所)の郷土資料コーナーの展示内容(予定)は。

### 教育長

当館の西側4部屋を活用して展示する予定。

部屋①は、三木町のあけぼのとして、三木町の原始から古墳時代を紹介するパネルを中心に展示。

部屋②は、三木町の歴史、奈良時代から昭和までを紹介するパネルを中心に展示。

部屋③は、明治の老農奈良専二、メタセコイアを発見した三木

茂、人間国宝鎌倉芳太郎などを紹介するパネル、その作品等の写真を展示。

部屋④は、昔の暮らしとして、昔の民具、農具などを展示。

なお、パネルの作成や展示物の整理が出来次第、郷土資料コーナーの開館を考えている。

郷土資料コーナーの展示に関連した多くの史跡が町内、周辺部にあり。たとえば、白山山頂からは南に南海道・

条里制跡や、北に源義経の屋島への道、遠く戦国時代の昼寝城社(長尾)、西に十河城社(高松市)などを見ることが出来る。

子どもたちが郷土資料コーナーの展示および史跡を見学し、歴史を学習する意義についての考えは。



▲源義経屋島への道(白山山頂から)

### 教育長

郷土の歴史を知ることの意義は、まず自分のルーツを知り、自身自身に誇りをもつことである。

郷土の文化遺産を後世のために大切に保存し、それを学び、新たな文化を創造することが大切と考える。

### 学芸員の養成は。

### 教育長

現在、三木町職員で学芸員の資格を持つ者

はいない。今後、三木町の歴史に興味を持ってもらう環境づくりを進めていく中で、子どもたちを含め、学芸員を目指す人が出てきてほしい。

文化財(出土品・古文書・民具等)の保存施設の状況は。

### 教育長

保存を目的とした専用施設はない。現在、出土品は池戸公民館敷地内の倉庫に、民具は旧神山小中学校に分離保管している。今後は、郷土資料コーナーに集中展示できるように整理していきたい。



▲出土品収納庫

### その他の質問

○平成25年度予算編成について。

○地域主権改革のその後について。

# 問 教育委員会の

## 独立性と合議制を

### 答 尊重していく



一般質問  
西丸一明 議員

教育委員会は、首長から独立した権限を持つ

ことにより教育行政の中立性等を確保し、また、合議制にすることにより、教育行政の方針が個人の価値判断に左右されることを防ぐことになる。町長の考えは。

町長

中立公正であることは極めて重要である。教育委員会の中立的・専門的な行政運営については尊重していく。

### 教育長の人事の狙いは何か

今回の教育長人事は教育行政に携わっていない

い者、しかも職員からの大抜擢である。

実質的な任命権者である町長の期待するところは何か。

町長

戦後できた教育委員会制度は、長年経過した中で、制度疲労を起している。

町長権限と教育委員会の権限とが混在しているの、これから

は、情報の公開と共有化を図る必要がある。

そのような狙いから今回の人事は、教育経験者より行政職経験の方が望ましいと判断した。

### コミュニティスクールの取り組みは

保護者や地域の人たちが携わるコミュニティスクールや学校評議委員会などが重要と思われるが、特に、田中小と白山小で取り組んでいるコミュニティスクールの今後の取り組みは。

保護者や地域の人たちが携わるコミュニティスクールや学校評議委員会などが重要と思われるが、特に、田中小と白山小で取り組んでいるコミュニティスクールの今後の取り組みは。

教育長

一学級の生徒数が減少する中、地域の人々

が学校教育に参加してくれることは、これからの少人数数学級教育では非常に重要だ。

これからも両校をモデル校として支援していく。

大津市の中2自殺問題を受けての文科省通知では、いじめの未然防止や早期発見ができた

り、問題を隠さず適切に対応できたりした教員や学校をプラス評価するようにになっている。いじめ問題の対応の基本マニュアルは。

教育長

文科省の通達内容に従って、いじめの早期発見のためのチェック

クポイントに基づいて指導していく。

同時に、家庭と地域社会との連携を図って行きたい。

### 「獅子たちの里 三木まんで願。」の反省点と改善点は何か

祭りを町の中心に持ってきて、身近な祭りとして取り組んだことを評価したい。

その上で、改善すべき点は改善し、町民に親しまれる祭りになるようにすべきだ。

町長

全体的には、大変良かったという声を多くいただいている。大きなトラブルや交通渋滞もなく終えられたことは、大変良かったと思っている。

観客の流れをスムーズにする会場設定やメインステージの改善など、これらの意見を十分検証し、来年度

に生かしていきたい。

開始時間を早めよ

町長

会場全体を、開始時間から終了時間まで全般にわたって、来場者が楽しめるように工夫したいと考えている。

### 経費節減を

過去の活き生きふれあいまつりは2739万円。まんで願は、実質、約3800万円かかっている。

来年度は知恵と工夫を出して、経費を30パーセントカット、総額3000万円以内に抑えるべきだ。

町長

住民が最初から企画・立案から参画したことは有意義なものであったが、結果的に、予想外の出費があった。

これから、いろいろな意見を検証し、議論を深めていきたい。



▲教育委員会事務風景

# 問 都市計画マスタープラン

## 策定に至った経緯は

### 答 県・町の計画の方針に即して定める

本町では、平成25年の3月策定に向けて、都市計画マスタープラン策定委員会が設置され現在までに9月、11月と開催された。

これは、都市計画法に定める都市の将来像や整備方針を定める都市計画に関する基本的な方針のことで、市町村において定めることが義務付けられている。この委員会で策定される内容は、今後の町づくりの方向を示す上で大変重要なものであり、今回の策定に至った経緯について問う。

#### 町長

都市計画法第18条の2に基づき、第5



一般質問 香西 義典 議員

人口フレームは。

#### 町長

次三木町振興計画や県の都市計画の方針に即して町が定めるもので、目指す姿や、その実現に向けた都市計画の取り組みの方向性を明らかにする。

目標年次は。

#### 町長

県が策定している都市計画区域マスタープランと第5次三木町振興計画の目標年次が、いずれも平成32年度である。

今回の目標年次は、10年後の平成33年とする。

計画の対象区域は都市計画区域内としており、町内全人口の約94パーセントが対象となる。

平成33年の都市計画区域内の目標人口は、2万5600人である。

### 県道三木牟礼線の信号機設置に向けた状況は

平井小学校正門から南へ約100メートルの位置に交差点があり、数年前から人身事故などが多く発生している。地域住民の安心・安



▲信号機の設置が待たれる(平木・平木下所)

全の確保のためにも、一刻も早い信号機の設置、併せて交差点の交通安全施設、一部沿線の道路改良の声も多く聞かれる。この交差点に位置する平木下所自治会か

ら、信号機設置の要望がなされると聞くが、現時点での信号機設置に向けての状況は。

#### 町長

本要望を受け、県危機管理総局長あてに、交通事故多発地点等の総合判断申請書を提出する。来年春ごろに、実施が予定されている現地診断を経て、設置の可否が判断される。

信号機の設置要望に対する説明責任は。

#### 参事

信号機の設置基準は、公安委員会が所管しており、その優先順位等も公安委員会が判断される。なお、県公安委員会の窓

口である高松東警察署によると、道路の形状、車両の交通量および周辺の信号機の設置状況などを総合的に判断し、設置の可否が決定されることである。

### ジエネリック医薬品への切り替えは

国民健康保険被保険者の方に対して、どのような方法でジエネリック医薬品の切り替えをしていくのか。

#### 健康福祉課長

※ジエネリック医薬品は、患者負担の軽減や医療費の適正化に有効であることから、使用促進について、広報みぎ、ホームページ等で正しい知識の普及啓発に努めている。

※ジエネリック医薬品とは、物質特許が切れた後発医薬品のこと。

決算委員会  
から

# 7つの指摘

9件の決算を認定

9月の定例議会で、決算特別委員会に付託された23年度各会計決算9件は、5日の本会議で、白井委員長の審査結果報告に続き採決が行われ、一般会計および後期高齢者医療事業特別会計については賛成多数、その他の特別会計および水道事業会計合わせて7件については、全会一致で認定した。委員会では、5日間審査した結果、7項目を当局に指摘し、来年度への対応を提言した。指摘事項は、次のとおりである。なお、これらについては、平成25年3月定例議会において、町長より状況報告される。



▲防災訓練でも活用を

**1** 防災活動の徹底を図りたい

**問** 防災倉庫内備品の住民への説明は。

**答** 参事

地区の防災訓練で説明、活用を考えている。

提言

今世紀前半にも高い確立で発生が予想される地震に備え、設置した防災倉庫などを活用するとともに、自主防災組織の訓練実施を強化するなど、防災活動の徹底を図りたい。

**2** 各種医療制度の充実と地域包括支援センター拡充を

**問** 地域包括支援センターの業務内容は。

**答** 健康福祉課主幹

65歳以上の方が元気で暮らせるよう、相談業務を行うとともに、要支援1および要支援2の認定を受けた方のケアプランの作成も行っている。

提言

子育て支援を拡充し、乳幼児医療制度の対象年齢を段階的に義務教育終了まで引き上げるとともに、高齢者などの各種医療制度の充実に引き続き努めたい。また、介護、介護予防対策として、地域包括支援センター機能の充実・拡充になお一層努められたい。

**3** 高齢者の生きがい作り向上を

**問** 高齢者の就業支援は。

**答** 健康福祉課長

シルバー人材センターの活用を努める。

提言

高齢者の仕事の確保を図り、健康現役の向上を目指し、シルバー人材センターなどの機能拡充に努められたい。

**4** 下水道事業の早期供用開始を

**問** 農業集落排水と公共下水道の接続は。

**答** 上下水道課長

農業集落排水施設と公共下水道の接続について、県の同意が11月中旬に得られる見込みだ。

提言

公共下水道事業および農業集落排水事業の早期供用開始を図られたい。



▲高齢者の生きがい作り(シルバー人材センター)

**5** 主要幹線道路の整備を

**問** 三木志度線の状況は。

**答** 土木建設課長

保安林の地権者と合意ができていない。地方特定事業として取り組む。

提言

**6** 電算システムの経費削減を

**問** 町道砂入・荒木線をはじめとする主要南北幹線道路の早期整備を推進すること。また、町内道路の危険箇所には、交通安全施設の充実を図りたい。

**答** 副町長

プラザとサンサン館の委託金は1億3千500万円である。

**問** どのような合理化が図られたのか。

**答** 政策情報課長

平成22年からシステムの構築が行われている。他業務との連携が

図れるようになった。

**7** 町単独補助金、委託料の見直しを

**問** プラザ等年間委託料を削減すべきでは。

**答** 副町長

慣行的な補助金や委託料は精査し改善すること。特に、各種施設の運営は費用対効果を重視し、公平・公正な運用に努められたい。

提言

## 請願・陳情のゆくえ

平成24年 陳情第1号 (平成24年2月22日 受付)	子ども達の生き生きとした活動環境の整備と場の提供を求める陳情書 要旨(2)「子ども達が生き生きと活動できる場と公園遊具の整備を要望」	継続審査
木田郡三木町大字鹿伏335番地4 地域で子育てを考える会 代表 富田加織 賛成者署名延べ1242名		
(平成24年10月1日受付)	なくせじん肺全国キャラバン要請書	議員へ配布
香川県高松市円座町840-1地先 なくせじん肺全国キャラバン香川県実行委員会 代表委員 藤好重泰ほか5名		
(平成24年10月16日受付)	社会保障制度の拡充を求める陳情書	議員へ配布
香川県高松市栗林町1-6-4 香川民医連内 香川県社会保障推進協議会 会長 松尾邦之		
(平成24年10月22日受付)	「安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める」及び「介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める」陳情について	議員へ配布
香川県高松市栗林町2-14-39 昭和ビル3階 香川県医療労働組合連合会 執行委員長 田村瑞敏		
(平成24年10月23日受付)	伊方原発の再稼働を行わないことを求める陳情	議員へ配布
高知県高岡郡四万十町十和川口730 NPO 子どもと未来 四万十 代表 川下徳之		
(平成24年11月13日受付)	生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情書	議員へ配布
香川県高松市栗林町1-6-4 香川民医連内 香川県社会保障推進協議会 会長 松尾邦之 香川県高松市栗林町1-1-14 香川県生活と健康を守る会連合会 会長 高木 清		
(平成24年11月27日受付)	伊方原発の再稼働を認めないことを求める意見書の採択を求める陳情	議員へ配布
香川県高松市西内町7-25 脱原発アクションin香川 実行委員長 塚田正昭		

# 委員会 レポート

## 総務建設

11月開会

公園整備の  
陳情書を審査  
継続審査に決定

マスタープランの決定まで、時間が必要であり、公園整備事業を実施する段階において、補助事業の選定、財政面も含めて検討する。



▲待たれる公園整備

**問** マスタープラン策定の中での公園整備は。

**答** 土木建設課長

最終的に都市計画審議会において審議し、今年度中に決定したい。

所管事務調査  
三木町の危機管理

**問** 本町の地域防災計画の一つである震災対策について、備蓄食料、生活用品の年次計画と賞味期限、また、備蓄資材点検について調査した。

**問** 自主防災資機材等の設置は。

**答** 参事

18カ所にある自主防災倉庫に資機材等を整備し、食料等は、本部において、想定避難者数300人の3日分2850食と2225リットルの飲料水を確保している。

# 教育民生

11月開会

所管事務調査  
老人福祉施策

12月1日オープン  
の特別養護老人ホーム「みき山荘」新館の現地調査を行った。

**問** 施設の概要・特徴は。

**答** みき山荘

定員40名の全室個室の「小規模生活単位型」の介護施設である。費用は、要介護度5の方で、月額13万から14万円が上限である。地域との交流を大切にしている。

その他の報告事項

旧田中幼稚園天枝分園を、社会福祉施設として再利用



▲みき山荘新館の入浴設備

# 下水道推進

11月開会

この間の下水道事業の現況報告を受けた。

農業集落排水事業三木東地区の公共下水道接続について、県の同意が得られる見込みと、接続にかかる費用負担の説明があった。

現在、計画変更に必要な資料作成作業を進めている。

**問** 事業の今後の見通しを問う。

**答** 上下水道課長

建設費用が多額であるため、交付金枠の大きい汚水処理施設整備交付金を活用する予定である。交付金の申請時期が平成26年1月の見込みであるため、建設工事の着工が予定より遅れる。処理場の建設工事が開始になれば埋管工事を再開したい。

# 行財政改革

11月開会

地方自治法の改正について説明を受けた。

平成24年3月末をもって廃園となった天枝分園を、一時預かり保育(定員9名、ゼロ歳から就学前の児童が対象)・高齢者・障がい者が集える施設にすることが報告された。開館は、25年4月の予定。

今回の改正により、議会会期の通年制、議長による臨時議会の招集ができるようになった。また、委員会に関する規定の簡素化、議会の調査権に関する運用の適正化および政務調査費を「政務活動費」と改正し、条例改正等の手続きが必要となった。委員会としては、12月議会に上程の手続きが必要であり、全員協議会において協議することを確認した。

# 追跡

第25回

# レポート

どう  
なっとんな？



## 町有施設の有効利用を

現在休園中の田中幼稚園天枝分園の今後の利用予定は。

平成22年9月 一般質問



## 教育長答弁

三木町学校適正化審議会の中で判断されることになる。

## こうなります



本年4月1日から、「まんでがんふれあいホーム」として活用する。

## 自主防災組織の充実を

高松市の合併で自主防災組織の大半が実態を伴っていないが、三木町の見解を問う。

平成19年12月 一般質問



## 町長答弁

組織の結成率向上を図りながら、人材の育成に努める

## こうなりました

- ・地域防災リーダー育成セミナー 年3回
  - ・自主防災リーダー研修会 年1回
  - ・総合防災訓練 年1回
- 開催している。



▲総合防災訓練 (H24.9.2 : 高松東ファクトリーパーク)

# 元気なグループ紹介

## 香川医療生協 田中支部

代表 多田 芳子

私たちのグループは、香川医療生協田中支部として活動しており、「仲良く楽しい健康づくり」をモットーに、みんなで協力し、人に喜ばれることを無理なく長く続けられるよう年間行事に取り組んでいます。

仲良しグループなど三人集まれば班が作れます。月二回の班会には、健康チェック（尿検査、血圧測定、体脂肪検査）や健康に関する話が聞け、病気の予防に役立っています。助け合い活動の一つに、配食弁当作りがあります。毎月二回第三金曜日に百食作り作ります。ヘルシーで安く美味しいと好評をいただいております。運営委員、ボランティアの方々十数名で、前



▲グループの皆さん



左:おいしく揚がってます 右:本日の弁当

日から準備し、当日は出来上がりを配達し、忙しくも喜んで下さるのを励みに和気あいあい楽しく作っております。

行事がいつばいず。また、過去にはベトナム視察団の訪問を受け、健康チェックやセラバンド体操を共に体験しました。今後も健康づくりに、明るい町づくりに頑張りたいと思います。

### 四国地区町村議会議長会研修会

平成24年11月6日、高松市のアルファあなぶきホールで、第53回四国地区町村議会議長会研修会が開催され、議員と監査委員が出席しました。

当日は、まず、「自治体議会の災害対応」という演題で、同志社大学大学院総合政策科学研究科の新川達郎教授から講演がありました。

その中で、災害対応、防災体制の整備、災害復興における議会の役割など、災害時の具体的な行動や対策、望ましい対処策などが示されました。

次に、「瀬戸内国際芸術祭と海の復権」という演題で、アートディレクターの北川フラム氏から、講演がありました。同氏は、2010年の瀬戸内国際芸術祭で総合ディレクターを務めた実績をもとに、瀬戸内海の美しい海を活用した地域の振興を力説しました。

### お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。当日の午前8時30分で、傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。

●お問い合わせは、議会事務局へ

☎(087) 891-3311

次の定例議会は、3月の予定です。

### 編集を終えて

昨年末に、公明党との連立による自民党の第2次安倍内閣が発足しました。安倍首相は、デフレ脱却と経済の再生に最優先で取り組むと声明しており、早くこの不況からの脱出を強く望んでいます。

本町においても少子高齢化の進む中、これからの町政運営に新しい躍進の幕開けに期待したいものです。

2013年新春にあたり、私たち議員も気を引き締め、新しい年が良いとしになるよう一生懸命努めさせていただきます。

(富田修司)

議会だよりは私たちが

編集しています。

編集委員長	富田 修司
同副委員長	渡辺 達実
同 委員	香西 茂知
同 委員	香西 義典
同 委員	村松 修
同 委員	藤井 匠
同 委員	十川 治郎
同 委員	高藤 周介